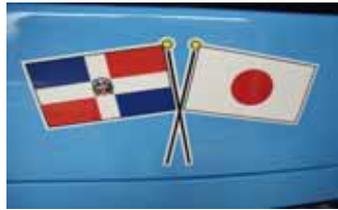


ドミニカ共和国



サント・ドミンゴ市に塵芥収集車寄贈

対象地域：サント・ドミンゴ市

内 容：塵芥収集車6台

【神奈川県、埼玉県の自治体より6台供出】

輸送過程：2006年 9・10月 横浜港より第一・二便出港
9・11月 第一・二便サント・ドミンゴ港
入港

2007年 1月 車両引渡しセレモニー

サント・ドミンゴ市ってどんな地域？

ドミニカ共和国は中南米に位置し、九州と高知県を併せた広さの国で、サント・ドミンゴ市は首都であり最大の都市です。気候はサバナ気候で、海洋性を帯びています。

最近では都市化による人口増加が激しく、ごみの増加が問題になっています。ごみを回収するために、市はダンプトラックを使用することが多いのですが、ダンプ部分に山積まれたごみは輸送中に風で散乱してしまいます。生活ごみの収集さえ難しいところも少なくありません。また、川沿いの不法住居地帯は塵芥収集車が入れず、収集作業ができないために、都市環境の汚染と衛生状態の悪化を引き起こしているのが現状です。

ドミニカ共和国の深刻なごみ問題

中南米で経済成長率が最も高く、中米カリブ地域で観光客規模が最も大きいドミニカ共和国のごみ排出量は、先進国並みの水準にあります。しかし、ごみ収集能力や処理能力が低く、大都市や観光地近郊の廃棄物処理場は、大量のメタンガスが発生し、自然発火を起こすこともあります。処理場近くに暮らす住民は、煤煙や悪臭に悩まされています。

市民へ存在感をアピール！

2007年1月12日、サント・ドミンゴ市役所で6台の塵芥収集車の引渡しセレモニーと、「ごみと環境」をテーマにしたポスターコンクールの表彰式が行われました。引渡しセレモニーには、市からロベルト・サルセド市長、環境局ホセ・ミゲル部長、入賞者、日本大使館から岡本治男特命全権大使及び担当者、JICAシニアボランティア柏木昭雄氏、原十四一氏が出席しました。マスコミ関係者も集まり、同日午後のテレビニュースで報道されました。

ポスターコンクールは今回の塵芥収集車の寄贈に伴い、シニアボランティアの方の発案で、市民の環境意識を高めようと、市内の小学生を対象に行われたものです。また、学校教員のための処分場見学もあわせて行うなど、各学校で関心が高まるような工夫がなされています。コンクール入賞者の作品は、塵芥収集車の側面に描かれ、塵芥収集車は毎日市内を走って活躍しています。



引渡しセレモニー：市長挨拶。右隣は岡本大使

コンクール表彰式：市長と受賞者ら

引渡しセレモニー：表彰式出席者の集合写真



コンクール受賞者と作品(ラファエル君 11才)

コンクール受賞者と作品(カレンちゃん 9才)

毎日ごみを収集しに出発！！

お問合せ：社団法人日本外交協会 海外援助事業担当

tel: 03-3584-6200, fax: 03-3584-7542, e-mail: recycle@spjd.or.jp